



# 新☆びゃくか（白花）たより

12月度例会の様子

今年も悲喜交々色々有りました。まずは自身が健康で過ごせたことに感謝

手打ちそばぐる〜ぷ

白 花

第 号： R 6. 12. 21



元旦から能登半島の大地震に始まり、翌日には羽田空港の大惨事が発生し、記録に残るような暑い夏が続き農作物や果物等への影響が出て、生活必需品すべてに物価高騰の波が続き庶民の台所を苦しめた一年でした。首相も替わった事だし、来年は良くなるかな？

北海道は内地からの入植者や移住者の方が大半ですが、一年を通して節季には生まれ育った故郷の懐かしい風習が各家庭に残っているのではないのでしょうか。特にお盆・暮れ・お正月は。

私の家庭では、一年間の台所を預かる妻の苦勞を労う為に、大晦日から正月三ヶ日は台所を休んで貰って、替わって家長が神棚や仏壇や雑煮の支度をします。神前にお神酒の上げ下げや雑煮をお供えしたり、全員で神様と仏様にお祈りをして下げたお神酒を皆で飲んで正月が始まります。こうした行事も無くなりつつあるようですが。

例会ですが、今月は高橋進さんが来られて、古くから内地で伝わる生粉のトントン打ちを披露して下さいました。昔はこのような打ち方をしていたのでしょうかね。打ち終わった後は前回と同じように会員の指導をして頂きました。勉強になるし有難いですね。

そして白花の活動も今回の例会が今年最後の蕎麦打ちとなりました。来年も元気で皆さんが揃って楽しい蕎麦打ちが出来る事を期待しています。





